

## ■ ジャパンダートクラシック (JpnI) アラカルト (過去全25回の分析)

※第1回(平成11年)から第25回(令和5年)までは「ジャパンダートダービー」の名称で実施

※記録は令和6年9月18日時点

### ■ 1番人気馬はそれなりに堅実だが……

単勝1番人気馬は11勝、2着3回、3着3回で、3着内率が68.0%、単勝2番人気馬は4勝、2着4回、3着2回で、3着内率が40.0%、単勝3番人気馬は2勝、2着7回、3着6回で、3着内率が60.0%となっている。単勝1番人気馬の成績はまずまずだが、単勝2番人気馬の好走率がやや低い点に注意するべきかもしれない。

### ■ 前評判の高い馬が上位を占めた例も少なくない

過去25回のうち17回は、単勝3番人気以内の馬が勝利を収めている。また、単勝3番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は8回、単勝3番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は3回ある。

### ■ 牝馬は優勝例なし、外国産馬は2勝

過去25回の優勝馬25頭はいずれも牡馬である。牝馬は第6回(平成16年)でアクイレジアが2着となったものの、まだ優勝例はない。なお、外国産馬は第6回(平成16年)のカフェオリンポス、第11回(平成21年)のテストマッタと、これまでに2頭が優勝を果たしている。

### ■ 3着内馬のうち約3割は地方所属馬

地方所属馬は7勝、2着6回、3着11回、JRA所属馬は18勝、2着19回、3着14回となっている。過去25回の3着内馬75頭に対する割合で示すと、地方所属馬は32.0%、JRA所属馬は68.0%だ。

## ■ ミックファイアほか 3 頭が“無敗”のまま戴冠

過去 25 回の優勝馬 25 頭中、出走時点で無敗だった馬は、第 3 回（平成 13 年）のトーシンブリザード（出走時点で 7 戦 7 勝）、第 21 回（令和元年）のクリソベリル（同 3 戦 3 勝）、第 25 回（令和 5 年）のミックファイア（同 5 戦 5 勝）と、これまでに 3 頭いる。なお、ダートのレースに限ると出走時点で無敗だった馬は、前出のトーシンブリザード（ダートのレースに限っても出走時点で 7 戦 7 勝）、クリソベリル（同 3 戦 3 勝）、ミックファイア（同 5 戦 5 勝）に加え、第 4 回（平成 14 年）のゴールドアリュール（ダートのレースに限ると出走時点で 2 戦 2 勝）、第 7 回（平成 17 年）のカネヒキリ（同 4 戦 4 勝）、第 10 回（平成 20 年）のサクセスブロッケン（同 4 戦 4 勝）、第 11 回（平成 21 年）のテストアマツタ（同 2 戦 2 勝）、第 14 回（平成 24 年）のハタノヴァンクール（同 4 戦 4 勝）と、計 8 頭いる。

## ■ 騎手別の歴代最多勝記録は「4」

騎手別の勝利数を見ると、4 勝の武豊騎手が単独トップ。内田博幸騎手、戸崎圭太騎手、横山典弘騎手が 2 勝で 2 位タイとなっている。

## ■ 調教師別の歴代最多勝記録は「3」

調教師別の勝利数を見ると、3 勝の音無秀孝調教師が単独トップ。川島正行調教師、佐藤賢二調教師、角居勝彦調教師、矢作芳人調教師が 2 勝で 2 位タイとなっている。

## ■ 外寄りの枠番がやや優勢

枠番別勝利数を見ると、6 枠（8 勝）が単独トップ。7 枠（5 勝）が単独 2 位、3 枠、4 枠、8 枠（各 3 勝）が 3 位タイとなっている。また、馬番別勝利数を見ると、11 番（4 勝）が単独トップ。9 番と 12 番（各 3 勝）が 2 位タイ、3 番、4 番、6 番、7 番、10 番、14 番（各 2 勝）が 4 位タイである。ちなみに、未勝利の馬番は 2 番、13 番、15 番、16 番だ。

<伊吹雅也>